



関ロータリークラブ

URL <http://www.seki-rc.org/> E-mail seki-rc@abelia.ocn.ne.jp
TEL (0575)22-9332 FAX(0575)22-9977

RID2630 ROTARY CLUB OF SEKI ■会長 今峰 徹 ■副会長 大澤竜一 ■幹事 池村真一郎



2016~17 年度国際ロータリーテーマ
「人類に奉仕するロータリー」 ROTARY SERVING HUMANITY
RI 会長 ジョンF. ジャーム
2016~17 年度 関ロータリークラブテーマ
「おもいやり」 第51代会長 今峰徹

第 2438 号 平成 28 年 11 月 5 日 (土)

前例会の記録・第 2437 回 11 月 1 日(火)12:30

「財団へのご協力とご理解」

地区補助金担当小委員会 副委員長 堀部哲夫様

◆開会点鐘

◆「君が代」「奉仕の理想」斉唱

◆ビジター紹介

美濃加茂 RC 会 長 高井文洋様

// R 情報委員長 佐久間良直様

◆会長挨拶



皆さん今日は
本日は美濃加茂 RC より 2 名のお客様がお越しになっておられます。

10 月のガバナー月信に 劔田ガバナーが奉仕について語っておられます。

ポールハリスは「善行とはその下に隠れたものが姿を現したにすぎない」。米山翁は「ロータリーは目に見えないところに仕事があり、目立たぬところに妙味がある」とあるのを引用され、近年は目立つことに重きを置かれるようになってきたのを憂いておられます。

ロータリアンは、思いやりの心、助け合いの心、何をすれば良いかという洞察力・創造力、やり遂げる実行力、利他の心などを例会の場で磨くことが重要と考えております。

本日の卓話はロータリー善行の中心組織、R 財団、補助金小委員会副委員長でパスト会長の堀部哲夫さんの卓話です。よろしくお願ひします。

◆委員会報告

◎出席委員会 委員 酒向徳享

会員 47 名中 出席 30 名 出席率 66.67%

◎ニコボックス委員会 委員 加藤浩二

会長・副会長・幹事の皆さん・・・本日は「財団へのご理解とご協力」という題目で国際ロータリー第 2630 地区ロータリー財団部門 補助金小委員会副委員長堀部哲夫さまにお話いただきます。しっかり勉強させていただきます。そして、本日は、美濃加茂ロータリークラブから、会長の高井文洋様、ロータリー情報委員長の 佐久間良直様にお越しいただいております。本日はお忙しい中ようこそお越し下さいました。ありがとうございます。これをご縁にさらなる交流ができればと思っております。

美濃加茂 RC 高井様・佐久間様・・・メーカーキャップとして参加させていただきます。

山村、長村、早川、杉浦、加藤(浩)、常川、長尾、林(昇)、古田、酒井、後藤、東谷、亀井、岩倉、山谷、大岩の皆さん・・・本日は、堀部さんのロータリー財団のお話です。関 RC は、ラオス支援、桜の植樹、鮎の放流、ラグビー、安桜山遊歩道整備と連続で承認されているのは全て、堀部さんの実力だと認識して

おります。ロータリー財団の卓話勉強させていただきます。

長村貢…妻にバースデーカードをありがとうございました。

藤井淳さん…バースデーカード有り難うございました。10月6日に58歳になりました。同級生が祝ってくれます。

◆「財団へのご協力とご理解」

地区補助金担当小委員会 副委員長 堀部哲夫様



①ロータリーの変遷を振り返る

- ・1906年ロータリー創立 会員事業の利益と親睦を目的とする
- ・1908年地域社会への貢献と公共への奉仕を唱える 対立が生まれる（例会で歌

を歌って雰囲気をはげめる工夫がされる)

・1910年～1921年（4回にわたり連合会でスピーチ）
シエルドンが「職業奉仕の理念」を導入

・1917年 メルビン・ジョーンズがロータリーを止め
ライオンズを創立「We serve」を唱える ロータリーは「I serve」
アーチ・クランプが「ロータリー基金」を呼びかける
身体障害児に対する社会奉仕を提案
自らの事業の発展を願う職業奉仕から「他人を思いやり、他人の為につくす」
人道的奉仕活動への活動の基軸が変わる。社会奉仕活動には大きな資金が必要となり
対立が深刻化する。

・1922年 身体障害児に対する奉仕活動が本格化する
・1923年 決議23-34が提案される（職業奉仕と社会奉仕の調和を図る）
ロータリー運動とは世に有益な職業人から一人一業種えられた会員が、毎週一回開催される例会に於いて、互いが師となり徒となり集団で奉仕の心を学びつつ自己研鑽をする。そして、例会を離れて、個人生活、職場、団体において、地域社会、国際社会で奉仕活動の実践をしなければならない。

・1930年 シエルドン退会（決議29-7提案が原因とされる）
決議23-34の「最も奉仕する者、最も報われる」の削除が提案される

・1932年 会員が大量にライオンズに転向する
現在「社会奉仕」は「世界社会奉仕」となり「世界平和」を唱える団体にロータリーは発展してきました

②ロータリーに入会する動機

- ・友達が出来る：地域で活躍する好人物との交流が出来る
- ・職業に役立つ：ビジネス上の発展を期待している
- ・個人の成長と研鑽：話がうまくなる
- ・社会貢献が出来る（70%）

*職業奉仕について学びたい言う理由での入会は？

③ロータリーの発展とは？

- ・財団の資金を増やしたいから会員増強が必要なのか？
団体で有る以上、発展を願うのは当たり前の事？
- ・さらにロータリーが発展することにより「国際社会奉仕」「世界平和」に貢献できるからか？

・ロータリーの社会奉仕活動は青息吐息では？
事業費の捻出が出来ないクラブが増えている

④財団を活用するとどんなことが出来る

- ・社会奉仕事業の活動資金をたくさん使える
- ・ロータリーの公共イメージが向上する：会員増強につながる

⑤補助金の申請は難しい・・・？

・単年度制の殻を破る（CLPの導入）2～3年単位で事業を考える・申請から報告書まで責任を持つ・申請書、報告書は当たり前のことを書くだけ 難しくない

・補助金を使える事業と使えない事業

今まで継続してきた事業はNGでもスケールや対象が変わればOK・寄付、寄贈はNG
ロータリアンが汗する事業OK・地域のニーズの無い独りよがりなNG
ニーズを表現してください

・〇〇周年は使えません（地域のニーズが無い場合）

⑥財団寄付をして上手に利用しましょう

- ・財団の活用は相互扶助です（2～3年に1回利用する）
年次寄付 EREY=150を達成してください
- ・皆で使い切りましょう
- ・グローバル補助金に挑戦してください

◆幹事報告

◎例会終了後「理事、役員会」開催

次例会のご案内 11月15日（火）

「50周年実行委員会式典部門」代表 加藤浩二さん
担当：50周年実行委員会

例会：毎週火曜日 12:30
例会場：岐阜県関市本町6-20 大垣共立銀行関支店2F
事務局：岐阜県関市平和通7-10-25 アメリカ2F